

新しい戦前にさせない！ 物価高騰、福祉後退なのに 軍事費に巨額の税投入 政治資金パーティ・裏金犯罪をそのままに



物価が高騰し続け、賃上げが追いつきません。医療も介護も保険料や利用料が引き上げられる一方、サービスは縮小。子育て・

教育に十分にお金をかけられなくて、子どもたちにも我慢を強いています。

●軍事費 43 兆円、しかも他国攻撃の兵器のために

ところが、軍事費には5年間で43兆円もの巨額の国費が投入されようとしています。そのほとんどが、「国を守る」ためではなく、「よその国を攻撃」するためのミサイルや空母や戦闘機等々です。

政府与党は、中国などの攻撃から国を守るには、相手を先制攻撃できる力が必要なのだと言います。多くの国々の政府や与党が共通に用いる理屈ですが、間違いであるだけでなく、多くのウソに基づく理屈です。

●あらゆる戦争は「自衛」を口実に始まる

いま世界では、ロシアとウクライナの戦争、イスラエルによるガザのこどもや女性たちに対する大量虐殺といえる武力行使、イスラエルとイランの衝突などが起きています。

これらの戦争や軍事衝突が引き起こされた背景にある理屈こそ、自国を守るためには相手に思いとどまらせる戦力、先制攻撃できる武力が必要だという理屈です。そしてそれは、たとえ相手が力の「弱い」人々であっても、自国の利益を守り増大させるなら、よりいっそう弱い立場に押さえつけておくことも許されるという理屈を生み出します。

武力は強いライバル同士でなくても、いまイスラエルがパレスチナの人々に行っているように、「弱い」相手にも容赦なく振り下ろされてきました。戦前の日本が中国、朝鮮、アジアの人々に行ったのも、そういう「弱い」国や人々から奪い取るための戦争でした。

●働く者や市民を苦しめる軍拡と増税と福祉切り捨て

岸田政権が進める軍備の拡張政策は、国を守るどころか、その国の支え手である働く人々や市民を、ますます苦しめるものになっています。軍事費の捻出のための増税、社会保障や福祉の予算の削減、言論規制がまかり通ろうとしています。

働く者と市民の力で、ストップさせましょう！

共同テーブル・ちば

アイ女性会議
憲法を守る会
新社会党千葉県本部
市民ネットワーク千葉県
社会民主党千葉県連合
など
☎〇〇〇〇



危険極まりなく巨額の税金浪費する オスプレイの木更津配備はNO！

木更津市の海上自衛隊基地には、12機の自衛隊のオスプレイが配備されています。回転翼を上に向けたときは上下に、横に向けた時は水平に飛ぶ軍用機です。特殊な構造と技術のために、世界中で深刻な事故を起こしており、昨年11月にも鹿児島県の屋久島沖で墜落し、乗員8名全員が死亡しています。

基地のすぐ側に保育園なども抱える木更津市や千葉県下の多くの市民が、危険なオスプレイの配備をやめると声を上げてきました。しかし千葉県当局は、屋久島沖の事故の原因もきちんと明らかにされていないにも関わらず、年の3月21日に飛行再開を許しました。

オスプレイは危険な機種であるだけでなく、その配備とメンテナンスのためには莫大な税

金投入が避けられません。しかし政府防衛省は、中国との軍事的対抗を口にし、南西諸島の防

衛の必要上オスプレイは不可欠だとしてさらに機数を増やそうとしています。

南西諸島で住民の声を押しつぶしながら中国に向けた先制攻撃用のミサイルを何百基も配備し、それと連動させられた木更津のオスプレイ。こうした住民無視の軍拡こそが、戦争を招き寄せるのです。共同テーブル・千葉と一緒に反対していきましょう。



屋久島沖のオスプレイの残骸

幕張メッセ=県民のための文化施設 での国際武器見本市はやめて！

熊谷千葉県政は、子どもたちの行事やスポーツイベントなどが行われている幕張メッセで、よりによって国際武器見本市・DSEI ジャパンなる催しを開いています。

会場には、世界の軍需企業が集まり、戦車、戦闘機、ミサイル、AI兵器などなど、それぞ



DSEI 会場に展示された戦車

れの自慢の兵器を展示しています。そこに世界の政府や軍部が終結し、武器取引の商談を行います。

昨年のDSEI ジャパンには、いまパレスチナで、何万人もの罪もない子どもや女性を殺害し、イランとの戦争を欲しているイスラエルの軍需企業が19社も参加しました。

幕張メッセは、県民のための文化施設です。福祉や暮らしや文化の発展のために役立つ催しを開催するための県有施設です。そこで、日々大量の市民を殺害し、街やオフィスや工場を破壊する以外のどんな結果も残さない武器の展示、その売り買いを行うことなど、断じて許されません。

「共同テーブル・ちば」は、一昨年と昨年、武器見本市の中止を求めて行動しました。県民の皆さん、ともに声をあげましょう。

